

5-1-7 調査終了後の事業広報（鼎談企画）

本事業の効果を県内外全域に波及させるため、本調査結果を踏まえた同郷諸団体関係者間の意見交換（鼎談）の場を設け、令和7年3月13日付け南日本新聞朝刊及び同デジタル版で周知を図った。概要を下記に示す。

■ 狙い

- ・ 本調査において明らかになった同郷諸団体への期待や役割を紹介する一方、活動上の課題等を関係者間で共有し、県内外の関係者に広く周知することで、関係人口創出への機運を高める。

■ 鼎談主題 「ソトから見たカゴシマとその未来」（仮）

■ 鼎談実施日 2025年2月7日 金曜日 14時～15時

■ 鼎談方式 デジタル会議システム「zoom」によるオンライン形式

■ 登壇者

- ・ 関東鹿児島県県人会連合会 坂元 隆也（さかもと・たかや）会長
- ・ 関西鹿児島県県人会総連合会 稲盛 豊実（いなもり・とよみ）会長
- ・ 福岡鹿児島県人会（福岡南洲会） 西谷 和武（にしたに・かずたけ）会長
- ・ コーディネーター 南日本新聞社論説副委員長 門田 夫佐子

■ 紙面スペース 全7段 カラー（予定）

令和 7 年 3 月 13 日付け南日本新聞朝刊 11 ページ

問き手・南日本新聞社論説副委員長 門田夫佐子(写真左上)

A circular portrait of Dr. Husein Zeki, a man with dark hair, wearing a white shirt and a blue tie, set against a light blue background.

鹿兒島県知事
塩田 康

故郷をつなぎ、時代をつむぐ

A photograph of a busy indoor shopping mall. The mall has multiple levels connected by escalators. Various shops and banners are visible, including one for 'Sole & Wo' at the top. The mall is filled with people shopping and walking.

昨年の「関西がごしまファンデー」(神戸国際展示場)

三地域の県人会代表が語る鹿兒島の未来



稲盛 和夫



稲盛 盛一
いなるも
生まれ、
れいめい
取締役
振興会

坂 東 閣



坂
さかい
市生
上野
会社
総務

西会会長 若い頃から「山身は
道真貴身」と言うので好意的に迎
えて貰えました。こうした麓川島
が持つ何とも言えないポテンシ
ャルに感服しつつ、会員が誇りを
有できる味人会を目指していきた
いです。自分たちの身の丈に合った
活動を着実に積み重ねていくことで
若い世代にも魅力のな組織となる
ことを期待しています。

主 催 鹿児島県
企画・制作 南日本新聞社地域共創室